

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第1号（別表第2関係）

番号

申請日 令和 7年 ●月 ●日

岩手県知事 様

代表申請者

所在地 岩手県●●市●●-●●

名称 株式会社●●水産

職名 代表取締役

氏名 岩手 太郎

押印不要

水産加工業連携新活動促進事業費補助金交付申請書

水産加工業連携新活動促進事業費補助金の交付を受けたいので、岩手県補助金交付規則第4条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

(注) 交付申請額は、1,000円未満の端数を切り捨ててください。

1 補助事業に要する経費及び補助金交付申請額

(1) 補助事業に要する経費

2,340,000円

(2) 補助金交付申請額

1,000,000円

2 補助事業の内容及び補助事業に要する経費の配分

別添様式第2号（事業計画書）及び第4号（収支予算書）のとおり

3 補助事業完了予定期日

令和 8年 1月 20日

(注) 完了予定期日は、令和8年2月13日(金)までの間の任意の日付を設定してください。
また、事業計画書（様式第2号）の5に記載する事業期間の終了日と一致させてください。

(注) 提出書類及び添付書類（交付要綱別表第2）

下記を1部ずつ提出してください。なお、1～6の他に、知事が必要と認める書類を提出して頂く場合があります。

1 事業計画書（様式第2号）

2 収支予算書（様式第4号）

3 グループ中の1者が、沿岸12市町村に本社、支社、営業所、加工場又はこれらに類する事業拠点を有し、かつ東日本大震災で被災した水産加工業者であることを確認できる書類

4 代表申請者の直近の決算書の写し

5 代表申請者の振込口座の銀行名、店名、普通・当座の別、口座番号、名義人（フリガナ）が分かる部分の通帳の写し

6 誓約書（別紙1） ※6はグループを構成する全申請者分

様式第2号 (別表第2関係)

事業計画書 当初 〃回目変更)

1	東日本大震災により被災した水産加工業者 (複数の場合は主たる1者)	所在地	〒●●●●-●●●● 岩手県●●市●●-●
		名称	株式会社●●水産
		代表者名	岩手 太郎
2	代表申請者	<input checked="" type="checkbox"/> 上記「1」と同じ(「1」と異なる場合には以下に記載)	
		所在地	〒 ー
		名称	
		代表者名	
3	事業名	〇〇市水産加工業連携ブランディング推進事業	
4	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> ① 複数の水産加工業者等が連携して取り組む新たな事業 <input type="checkbox"/> ② 水産加工業者等が、県内陸部の企業等と連携して取り組む新たな事業 <input type="checkbox"/> ③ 水産加工業者等が、県外の企業等と連携して取り組む新たな事業	
5	事業実施期間	令和7年7月1日 ~ 令和8年1月20日 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 5px;"> (注) イベント等の実施日だけでなく、準備から経費の精算が完了するまでの全体期間を記載してください。 </div>	
6	事業内容	(1) 事業概要 【目的】 〇〇市内の水産加工業者4社及び盛岡市内の1社が連携して新ブランドを立上げ、新商品開発を進めるとともに、ECサイトを通じて販路拡大とブランディングに取り組む。 ① 新ブランド立上げ ブランディングコンサルタントの(有)★★舎と連携し、出口や売り場を見据えた4社統一のパッケージデザイン、ブラ	

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

		<p>ンディングのためのストーリーを構築する。</p> <p>② ECサイト開設 新ブランドのECサイトを開設し、パッケージデザインを統一した商品を販売する。</p> <p>③ 広告宣伝活動 統一ブランドの販路拡大を図るため、インプレッション広告等の掲出を行う。</p> <p>(2) 取り組む背景と理由 サンマや鮭などの主要魚種の不漁により、各社それぞれで商品のリニューアルを図る必要があったが、販路が決まっていない商品開発は実現できていなかった。 そこで、コンサルティング会社が調整役となり連携して新シリーズを開発することで、個社では手の回らなかった新しい広告宣伝法などにも挑戦していこうというもの。</p> <p>(3) 事業の具体的な進め方 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(注) 事務局実施体制や参加事業者の役割等や事業内容の詳細について記載してください。</p> </div> <p>① 代表申請者は、事業全体を統括し、総合的な企画調整、会計のとりまとめを行う。</p> <p>② 代表申請者及び水産過去業者3社は、統一ブランドの推進のため、既存商品のパッケージ変更、新商品開発、周知活動に取り組む。</p> <p>③ 有限会社★★舎は、ECサイトの運営及びインプレッション広告の管理を担当する。</p> </p> <p>(4) 創意工夫する点・特徴 一社のみでのブランディングでは商品ラインナップや周知の拡散力に限界があるため、グループで取り組むことでより強力にブランドの育成を図る。</p>
7	事業実施により期待される効果・目標	<p>(1) 活動目標</p> <p>令和7年度中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統一ブランドのデザイン作成 ・ 新商品の開発（水産加工4社×1商品） ・ 既存商品のパッケージデザイン変更 ・ ECサイト上での販売開始 （1月中旬販売開始予定） <p>令和8年度以降</p> <p>インプレッション広告のデータ分析をもとに、</p>

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

		ブランディングの手法や販路拡大先、開発する新商品のジャンルを検討していく。
	(2) その他期待される効果	ECサイトにより、事業終了後も見据えた顧客データの収集と、固定客の取り込みが期待できる。
8 連絡先 (担当者)	所在地：〒	—
		<input checked="" type="checkbox"/> 上記「1」と同じ（「1」と異なる場合のみ記載）
	部 署：	●●水産●●部 氏 名：三陸 次郎
	TEL：	019-●●●●-●●●●
	FAX：	019-●●●●-●●●●
	E-mail：	●●●●●@●●.co.jp

9 グループを構成する全申請者（「1」「2」は除く）

	名 称	所在地	代表者名	業 種	東日本大震災での被災
(1)	有限会社▲▲屋	岩手県●●市▲▲	岩手 一子	<input checked="" type="checkbox"/> 水産加工 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
(2)	株式会社××商店	岩手県●●市××	岩手 二郎	<input checked="" type="checkbox"/> 水産加工 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
(3)	株式会社◆◆鮮魚店	岩手県●●市◆◆	岩手 三子	<input checked="" type="checkbox"/> 水産加工 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
(4)	有限会社★★舎	岩手県盛岡市★★	岩手 四郎	<input type="checkbox"/> 水産加工 <input checked="" type="checkbox"/> その他（コンサル）	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
(5)				<input type="checkbox"/> 水産加工 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

※必要に応じて行を追加してください

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

10 実施スケジュール

実施項目	補助事業実施期間				具体的な取組方法
	(7～8月)	(9～10月)	(11～12月)	(1月)	
①事業実施に係る会議の開催					<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容の詳細検討 ・ブランドの方向性決定
②ブランドの設定					<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドストーリー決定 ・パッケージデザインの決定
③新商品の開発					<ul style="list-style-type: none"> ・ブランディング戦略と連動した商品開発
④ECサイトでの販売					<ul style="list-style-type: none"> ・11月下旬サイト立上げ準備 ・1月下旬販売開始
⑤					

(A4)

(注) 様式第1号の事業完了期日の範囲内で記入してください

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第3号（別表第2関係）

事業実績書

1	東日本大震災により被災した水産加工業者 (複数の場合は主たる者)	所在地	〒●●●●-●●●● 岩手県●●市●●-●
		名称	株式会社●●水産
		代表者名	岩手 太郎
2	代表申請者	<input checked="" type="checkbox"/> 上記「1」と同じ（「1」と異なる場合には以下に記載）	
		所在地	〒 —
		名称	
		代表者名	
3	事業名	〇〇市水産加工業連携ブランディング推進事業	
4	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> ① 複数の水産加工業者等が連携して取り組む新たな事業 <input type="checkbox"/> ② 水産加工業者等が、県内陸部の企業等と連携して取り組む新たな事業 <input type="checkbox"/> ③ 水産加工業者等が、県外の企業等と連携して取り組む新たな事業	
5	事業実施期間	令和7年7月5日～令和8年1月20日 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 5px;"> (注) 始期は「交付決定指令」以降の日付、終期は様式第2号の「5 事業実施期間」の間の日付としてください。 </div>	
6	事業内容	(1) 事業概要 【目的】 〇〇市内の水産加工業者4社及び盛岡市内の1社が連携して新ブランドを立上げ、新商品開発を進めるとともに、ECサイトを通じて販路拡大とブランディングに取り組んだ。 ① 新ブランド立上げ ブランディングコンサルタントの(有)★★舎と連携し、出口や売り場を見据えた4社統一のパッケージデザイン、ブラ	

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

		<p>ンディングのためのストーリーを構築した。</p> <p>② ECサイト開設 新ブランドのECサイトを開設し、パッケージデザインを統一した商品を販売した。</p> <p>③ 広告宣伝活動 統一ブランドの販路拡大を図るため、インプレッション広告等の掲出を行った。</p> <p>(2) 取り組む背景と理由 主要魚種の不漁やALPS処理水の影響により、国内外を問わず販路が縮小してきていることから、市内の同業者が一体的な商品展開をすることで付加価値を高めるとともに、販路の拡大を図る。</p> <p>(3) 事業の具体的な進め方 ① 代表申請者は、事業全体を統括し、総合的な企画調整、会計のとりまとめを行った。 ② 参加事業者は、統一ブランドの推進のため、既存商品のパッケージ変更、新商品開発、周知活動に取り組んだ。 ③ 有限会社★★舎は、ECサイトの運営及びインプレッション広告の管理を担当した。</p> <p>(4) 創意工夫する点・特徴 一社のみでのブランディングでは商品ラインナップや周知の拡散力に限界があるため、グループで取り組むことでより強力にブランドの育成を図れた。</p>						
7	事業実施により得られた効果	<p>(1) 活動目標の達成度</p> <p>令和7年度中</p> <ul style="list-style-type: none"> 統一ブランドのデザイン作成完了 新商品の開発（5商品完成） 既存商品のパッケージデザイン変更（延べ12商品変更完了） ECサイト上での販売開始（1月20日に12商品販売開始） <p>インプレッション広告データ</p> <table border="1" data-bbox="708 1861 1353 2002"> <tr> <td>実施 SNS</td> <td>Instagram</td> </tr> <tr> <td>広告掲出回数</td> <td>1回（50,000円枠×1回）</td> </tr> <tr> <td>総インプレッション数</td> <td>549,304回</td> </tr> </table> <p>※ 詳細は別添のとおり</p>	実施 SNS	Instagram	広告掲出回数	1回（50,000円枠×1回）	総インプレッション数	549,304回
実施 SNS	Instagram							
広告掲出回数	1回（50,000円枠×1回）							
総インプレッション数	549,304回							

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

		<p>(注) 完了報告書には、成果物やレポート、写真等の、事業が完了していることを確認できる書類を添付してください。</p> <p>令和8年度以降 インプレッション広告のデータ分析をもとに、ブランディングの手法や販路拡大先、開発する新商品のジャンルを検討していく。</p>
	(2) その他、得られた効果	ECサイトにより、事業終了後も見据えた顧客データの収集と、固定客の取り込みが期待できる。
8 連絡先 (担当者)	<p>所在地：〒 —</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 上記「1」と同じ（「1」と異なる場合のみ記載）</p> <p>部 署： ●●水産●●部 氏 名：三陸 次郎</p> <p>T E L : 019-●●●●-●●●●</p> <p>F A X : 019-●●●●-●●●●</p> <p>E-mail : ●●●●@●●.co.jp</p>	

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

9 グループ構成者（「1」「2」は除く）

	名称	所在地	代表者名	業種	東日本大震災での被災
(1)	有限会社▲▲屋	岩手県●●市▲▲	岩手 一子	<input checked="" type="checkbox"/> 水産加工 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
(2)	株式会社××商店	岩手県●●市××	岩手 二郎	<input checked="" type="checkbox"/> 水産加工 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
(3)	株式会社◆◆鮮魚店	岩手県●●市◆◆	岩手 二子	<input checked="" type="checkbox"/> 水産加工 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
(4)	有限会社★★舎	岩手県★★市★★	岩手 三郎	<input type="checkbox"/> 水産加工 <input checked="" type="checkbox"/> その他（広告代理店）	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
(5)				<input type="checkbox"/> 水産加工 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

※必要に応じて行を追加してください

10 実施スケジュール（実績）

実施項目	補助事業実施期間				具体的な取組方法
	(7～8月)	(9～10月)	(11～12月)	(1月)	
①事業実施に係る会議の開催					<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容の詳細検討 ・ブランドの方向性決定
②ブランドの設定					<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドストーリー決定 ・パッケージデザインの決定
③新商品の開発					<ul style="list-style-type: none"> ・ブランディング戦略と連動した商品開発
④ECサイトでの販売					<ul style="list-style-type: none"> ・1月20日販売開始
⑤					

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第4号（別表第2関係）

収支予算書 **当初**、__回目変更)

1 収入 (単位：円)

区分	予算額（税抜）	内 訳
岩手県補助金	1,000,000 円	
自己資金	1,340,000 円	
その他	円	
総事業費	2,340,000 円	

(注) 他の補助金、助成金等を活用する場合は「その他」に記入し、内訳欄に名称を記載してください。

2 支出 (単位：円)

区分	予算額（税抜）	内 訳（名称、想定単価×数）
① 旅費	円	
② 専門家謝金・旅費	900,000 円	ブランディングコンサルタント (30万円×3か月)
③ 消耗品費	円	
④ 印刷製本費	100,000 円	チラシ印刷 (10円×10,000枚)
⑤ 通信運搬費	40,000 円	チラシ発送費 (800円×50か所)
⑥ 広告宣伝費	1,300,000 円	ECサイト開設費 (1,200,000円×1名) インプレッション広告 (50,000円×2期)
⑦ 雑役務費	円	
⑧ 会場借料	円	
⑨ 借料	円	
総事業費	2,340,000 円	

(注) 税抜額を記入してください。

※ 変更の場合は、変更前を（ ）書きで上段に記入

(A4)

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第5号（別表第2関係）

収支決算書

1 収入

(単位：円)

区分	決算額（税抜）	内訳
岩手県補助金	1,000,000 円	
自己資金	1,266,200 円	
その他	円	
総事業費	2,266,200 円	

2 支出

(単位：円)

区分	決算額（税抜）		
① 旅費	円		
② 専門家謝金・旅費	900,000 円		
③ 消耗品費	円		
④ 印刷製本費	85,500 円	（注）支出の内訳は記入不要です。ただし、添付する根拠資料は、内訳や消費税率・税額が分かるものを、①～⑨の順に並べて提出してください（内訳が明記された請求書・領収書等）。	
⑤ 通信運搬費	38,700 円		
⑥ 広告宣伝費	1,050,000 円		
⑦ 雑役務費	192,000 円		（注） 税抜額 を記入してください。
⑧ 会場借料	円		
⑨ 借料	円		
総事業費	2,266,200 円		

(A4)

（注）設備購入費、振込手数料、グループ構成員の社員等の人件費は補助対象外です。

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第6号（別表第2関係）

番 号

申請日 令和●年●月●日

岩手県知事 様

代表申請者

所在地 岩手県●●市●●-●●

名 称 株式会社●●水産

職 名 代表取締役

氏 名 岩手 太郎

押印不要

水産加工業連携新活動促進事業費補助金変更承認申請書

令和●年●月●日付け岩手県指令産経第●号で補助金の交付決定の通知を受けた水産加工業連携新活動促進事業費補助金の実施について、下記のとおり変更したいので、岩手県補助金交付規則第6条の規定により申請します。

記

1 変更の内容

雑役務費の予算の新規追加（192,000円増）

2 変更の理由

事業内容の見直しにより、ECサイトの開設業務の内の一部をグループ内で実施することとなり、専従の従業員を臨時的に雇い入れたため。

3 内容変更に伴う補助金額の変更額及びその算出基礎等

別紙のとおり

(注)

- ・ 事業実施期間を延長するとき
- ・ グループの構成員が変わるとき
- ・ 補助金の申請額を増やしたいとき

などの状況では変更申請が必要となります。変更申請を出していない場合、全額補助対象外となる可能性もありますので、**わずかでも事業内容を変更する場合は、必ず事前に御相談ください。**

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第7号（別表第2関係）

番 号

申請日 令和●年●月●日

岩手県知事 様

代表申請者

所在地 岩手県●●市●●-●●

名 称 株式会社●●水産

職 名 代表取締役

氏 名 岩手 太郎

押印不要

水産加工業連携新活動促進事業費補助金中止（廃止）承認申請書

令和●年●月●日付け岩手県指令産経第●号で補助金の交付決定の通知を受けた水産加工業連携新活動促進事業費補助金の実施について、下記のとおり中止（廃止）したので、岩手県補助金交付規則第6条の規定により申請します。

記

1 中止（廃止）の内容

2 中止（廃止）の理由

(注) 実態に基づき記載してください。
(提出前に御相談ください。)

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第8号（別表第2関係）

番 号

申請日 令和●年●月●日

岩手県知事 様

代表申請者

所在地 岩手県●●市●●-●●

名 称 株式会社●●水産

職 名 代表取締役

氏 名 岩手 太郎

押印不要

水産加工業連携新活動促進事業費補助金実績報告書

令和●年●月●日付け岩手県指令産経第●号で補助金の交付決定の通知を受けた水産加工業連携新活動促進事業費補助金の事業が完了したので、岩手県補助金交付規則第13条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 補助事業に要した経費

2,266,200 円

(注) 補助額ではなく、事業に係った経費の総額を記載してください。

2 補助事業の内容及び補助事業に要した経費の配分

別添様式第3号（事業実績書）及び第5号（収支決算書）のとおり

3 補助事業完了期日

令和 8年 1月 20日

(注) 事業実績書（様式第3号）の「5 事業実施期間」の終了日と一致させてください。

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第9号（別表第2関係）

番 号

申請日 令和●年●月●日

岩手県知事 様

代表申請者

所在地 岩手県●●市●●-●●

名 称 株式会社●●水産

職 名 代表取締役

氏 名 岩手 太郎

印

水産加工業連携新活動促進事業費補助金請求書

令和●年●月●日付け岩手県指令産経第●号で補助金の交付決定の通知を受けた水産加工業連携新活動促進事業費補助金について、岩手県補助金交付規則第13条の規定により請求します。

記

1 補助事業に要した経費及び補助金請求額

(1) 補助事業に要した経費	2,266,200 円
(2) 補助金請求額	1,000,000 円
(3) 前金払受領済額	0 円
(4) 今回請求額	1,000,000 円

2 補助事業の内容及び補助事業に要した経費の配分

別添様式第8号（実績報告書）のとおり

3 補助事業完了期日

令和8年1月20日

4 振込先

(注) 事業実績書（様式第3号）の「5 事業実施期間」の終了日と一致させてください。

●●銀行●●支店

株式会社●●水産 代表取締役 岩手 太郎

カブシキガイシャ●●スイサン ダイヒョウトリシマリヤク イワテ タロウ

フツウ ●口●座●番●号●

(注) 申請時に提出した口座の写しと同じ口座を記入してください。

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第 10 号（第 7 関係）

番 号

申請日 令和●年●月●日

岩手県知事 様

代表申請者

所在地 岩手県●●市●●-●●

名 称 株式会社●●水産

職 名 代表取締役

氏 名 岩手 太郎

押印不要

補助事業遂行状況報告書

水産加工業連携新活動促進事業費補助金交付要綱第 7 の規定により、令和●年●月●日現在における補助事業の遂行状況に関係書類を添えて報告します。

(注) 実態に基づき記載してください。
(提出前に御相談ください。)

記載例 架空の事業であり、実例ではありません

様式第 11 号 (第 10 関係)

番 号

申請日 令和●年●月●日

岩手県知事 様

代表申請者

所在地 岩手県●●市●●-●●

名 称 株式会社●●水産

職 名 代表取締役

氏 名 岩手 太郎

印

水産加工業連携新活動促進事業費補助金前金払請求書

令和●年●月●日付け岩手県指令産経第●号で補助金の交付の決定の通知があった
上記の補助事業について、下記のとおり前金払を請求します。

記

1 請求額 円

(請求額算定根拠)

区 分	金 額
補助金交付決定額	円
前金払受領済額	円
今回請求額	円
残 額	円

2 請求理由

3 収支計画書

別紙のとおり

4 振込先

(A4)